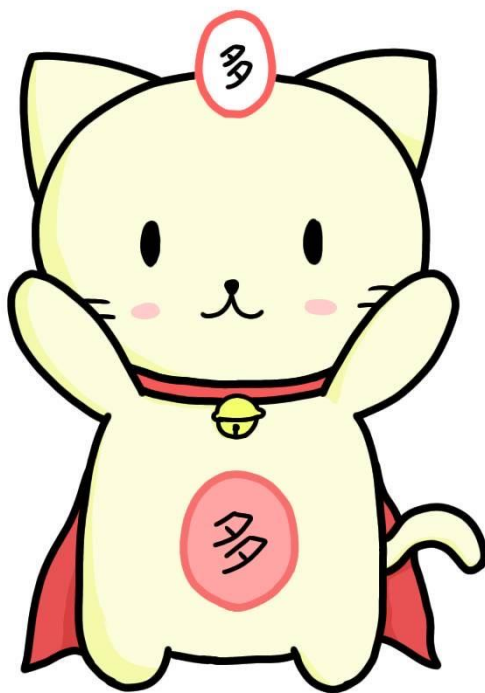


第24回たじみ子ども会議 意見書
けんとうけっかほうこくしょ
検討結果報告書



令和5年3月

多治見市

意見：コロナ禍でも笑顔でたのしく生活できるように・・・

1. 子どもスタッフが作った「マスクケース」を配ってほしい。
2. おとも「あいさつ」や「笑顔」を心がけてほしい。
3. 「オンライン」を生活に取り入れてほしい。
4. 仮に行事やイベントを中止にするなら、何か代わりになるようなものを作ってほしい。

市の考え・対応

みなさんからの意見をもとに、完成したマスクケースやYouTube動画を多くの人に使ってもらえるよう、対応をしました。

1. マスクケースは、子どものみなさんが設置してほしいと希望された児童館・児童センター、公民館で配付しました。



完成したマスクケース

2. マスクケースと一緒に作った新型コロナウイルス感染症関連動画は、11月15日～30日に、多治見駅南北連絡通路のデジタルサイネージで放映しPRを行いました。



多治見駅南北連絡通路
デジタルサイネージ

3. コロナ関連動画は、市内の小中学校へも配布し、活用していただくよう願いました。また、多くの人に見てもらえるようにYouTubeにも掲載しました。

みなさんが作ったマスクケースや動画は、コロナ禍でも楽しく過ごすことができ、みんなを笑顔にできると思います。



新型コロナウイルス感染症関連動画



コロナ関連動画 QR コード

4. 新型コロナウイルス感染症で私たちの生活は大きく変わりましたが、おとなである私たちもあいさつや笑顔を心がけています。

5. 行事やイベントを実施する場合には、新型コロナウイルス感染症と上手につきあい、オンラインやコロナ禍でも可能な方法を活用していきます。

今後も、子ども会議や子どもスタッフの活動をサポートしていきます。

(くらし人権課)